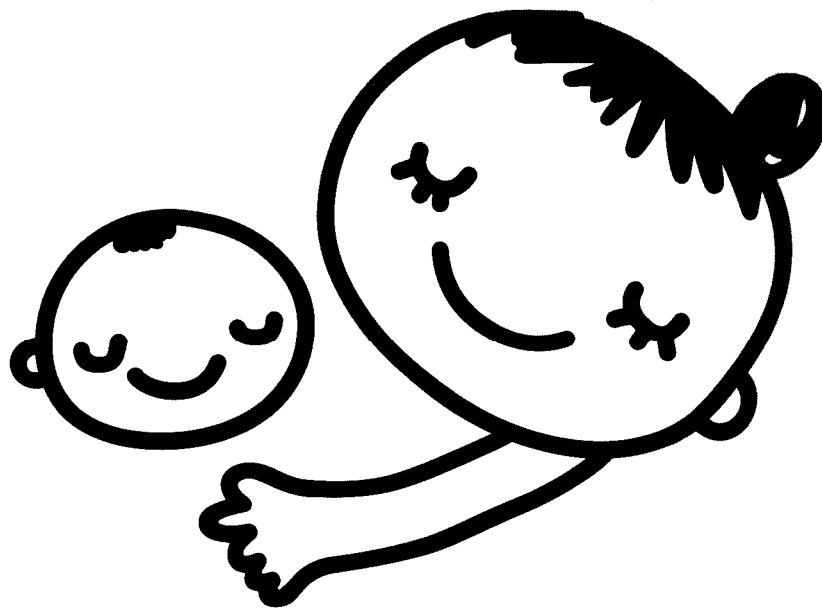


妊産婦さんへの思いやりを マークにしました

「電車・バス等では、優先して席を譲る。乗降時に協力する。」
「近くでの喫煙は、控える。」「お手伝いしましょうか? のやさしい一言。」など、
妊産婦さんへの思いやりある気遣いをお願いいたします。



このマークは、「健やか親子21」推進検討会において
選ばれた最優秀作品です。

妊産婦さんへの思いやり

妊娠中、特に初期は、赤ちゃんの成長はもちろん、お母さんの健康を維持するためのとても大切な時期です。しかし外見からは、妊婦であるかどうか判断しにくかったり、「つらい症状」がある場合もあります。もしも、あなたの住んでいる街や職場などで、このマークを付けているお母さんを見かけたら、皆さんからの思いやりある気遣いをお願いいたします。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

マタニティマークは、厚生労働省のHPから自由にダウンロードできます。詳しい活用方法や内容についてもこちらをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2006/03/h0301-1.html>

*対産婦の方は、プリントアウトしたものをキーホルダーなどに掲付してご利用ください。

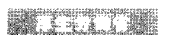


健やか親子21

健やか親子21は、
2001～2010年の
母子保健の
国民運動です。

「広がるやさしさ。あなたの街のマタニティマーク。」ポスター掲示にご協力ください!

上記HPよりダウンロードしたホスターを公共機関・職場・お店など人が集まる所などで掲示して頂けるよう
協力をお願いしています。また今回の取組のきっかけとなった様々なマークについてもご覧になれます。

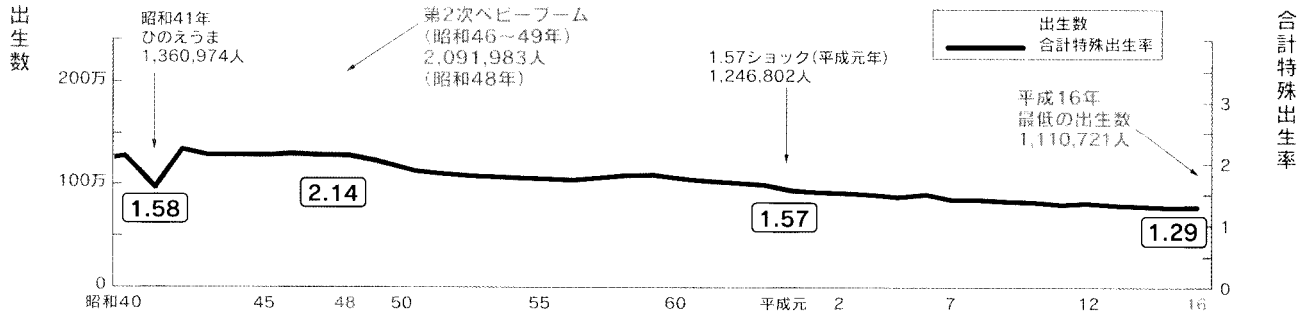


みんなで作ろう。 未来のお母さんと赤ちゃんにやさしい環境。



深刻な日本の少子化問題

現在、日本は急速に少子化が進行しています。出生数は平成16年に1,110,721人、合計特殊出生率は1.29と、いずれも過去最も低い水準を更新しています。



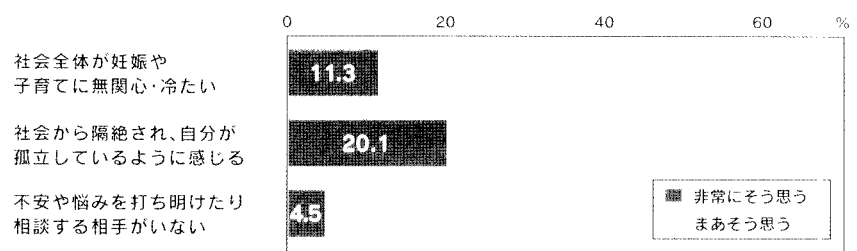
資料：厚生労働省「人口動態統計」

〈みんなで応援する子育て〉多くのお母さんたちは、子育て期間中に孤独感や負担感を訴えています。子育てにやさしい社会環境を築くために、皆さん一人ひとりの理解と協力が必要です。

子育て支援と地域の連帯

平成16年の意識調査によると、多くのお母さんは妊娠から子供が3歳になるまでの期間、孤独を感じ子育てを行っています。今後は、気軽に利用できる子育て支援センターなどの整備とともに、周りの人たちがいつでも暖かい手をさしのべる、お母さんと赤ちゃんにやさしい街づくりが求められています。

妊娠中又は3歳未満の子どもの母親の意識(平成16年調査)



多くの母親が孤立感の中で子育てを行っている

資料：(財)こども未来財団「子育て中の母親の外出時等に関するアンケート調査結果」(回答1069人)

〈みなさんへのお願い〉妊娠中、特に初期のお母さんは、妊婦であるか判断しにくかったり、「つらい症状」がある場合もあります。あなたの住んでいる街や職場などで、妊産婦さんはもちろん子育て期間中のお母さんを見かけたら、皆さんからの思いやりある気遣いをお願いいたします。

妊娠中又は3歳未満の子どもの母親の意識(平成16年調査)

外出先で困ること、周りの人たちに手助けしてもらいたいこと。

- 階段の上り下り/エレベーターやスロープがない/段差が多い(225人)
- バスや電車内で席を譲ってもらえない(93人)
- 歩きタバコ/タバコの煙/禁煙対策が遅れている(66人)

外出先で手助けされたり、勇気付けられたりして嬉しかったこと。

- バスや電車内で席を譲ってくれた(205人)
- ベビーカーを運んでくれた/たたんでくれた(183人)
- 子供をあやしてくれた/話かけてくれた/見守ってくれた(121人)

資料：(財)こども未来財団「子育て中の母親の外出時等に関するアンケート調査結果」(回答 069人)

未来のお母さんと赤ちゃんをみんなのやさしさでサポートしましょう!



担当：厚生労働省 雇用均等・児童家庭局母子保健課